

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月04日(水)

事務事業		指揮活動支援事務				担当課	深谷消防課	担当係	深谷消防署	管理番号	54311	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができて安全・安心なまちづくり				根拠法令 個別計画等	・消防法・消防組織法 ・消防力の整備指針 ・深谷市消防本部警防規程				
	小項目	2	消防・救急体制の充実									
	主要プロジェクト											
事業概要		指揮隊は、災害活動時における安全管理及び二次災害発生防止を図るとともに、円滑、効果的な部隊運用を推進する。										
目的 ※何のために		災害活動時の安全管理の確保と、円滑かつ効果的な活動を推進し、住民の安全、安心を守る。										
対象 ※誰・何を対象に		住民の生命、身体及び財産。										
手段 ※どのように		訓練及び研修会を実施する。										
成果 ※何を求めるか		災害活動時の職員受傷事故ゼロを目指す。										
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()										
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名			前年度決算額(円)			
本事業の 主な業務		・指揮隊災害出場統計の作成					・					
		・指揮支援活動業務					・					
		・訓練及び災害活動時の安全管理					・					
		・災害活動技術の調査研究					・					
		・指揮資器材の維持管理業務					・					
		・各種訓練の立案、調整、実施に関する業務					・					

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
人件費	従事職員数(人)	0.10	0.30	0.20	0.30		
	人件費相当試算※	786,956	2,403,050	1,644,449	2,558,346		
総事業費試算		786,956	2,403,050	1,644,449	2,558,346		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
	実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	指揮隊出場件数（暦年）	目標値	件							
		実績値		149.00	145.00	201.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指揮隊の災害出場件数であり、目標値の設定に値しない。/出場件数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	訓練・研修回数	目標値	回	22.00	22.00	20.00	20.00			
		実績値		22.00	22.00	20.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年間訓練計画に基づく目標値とする。（実施回数を詳細に計上。） / 実施回数							
	実績値の算出式									
活動指標 3	資器材点検実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00			
		実績値		100.00	100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		100%の資器材点検を目標とする。 / 実施日/365日×100							
	実績値の算出式									
成果指標 1	資器材常時使用可能率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00			
		実績値		100.00	100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		車載されている全資器材の常時使用可能率。 / 使用可能数/全資器材×100							
	実績値の算出式									
成果指標 2	二次災害事故防止率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00			
		実績値		100.00	100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		指揮隊が出場する災害活動での職員の二次災害事故防止率。 / 無受傷事故件数/全件数×100							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	消防組織再編によって、2隊運用から1隊運用となった出場件数を計上している。また年間訓練計画に掲げられた訓練はすべて計画とおり実施することができた。また、車両及び車載資器材を適正に維持管理することで、通年使用することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	車載資器材を常時使用できる状態に保つことができた。また、指揮隊が出場する災害活動において、職員の受傷事故を防止することができた。
			評価者 指揮係長 佐々木勝・松本秀行

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	各種災害現場において、積極的に情報収集を行うことで、活動の効率化、安全管理の徹底を図ることができた。また、データ化した署警防計画や部隊運用計画をタブレットに保存活用するとともに、災害現場からのタブレットを使用し非常召集も可能としたことで効率的に災害対応することができた。
			評価者 指揮係長 佐々木勝・松本秀行